

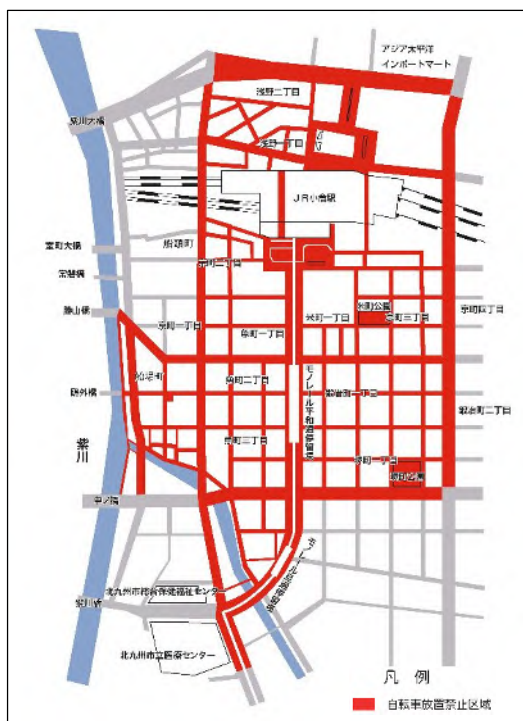
施策3. 放置自転車対策の推進

自転車や歩行者の通行阻害や都市景観の悪化などの要因となる放置自転車に対し、利用しやすい駐輪環境の形成とあわせて、「北九州市自転車の放置の防止に関する条例」に基づく自転車放置禁止区域の指定や放置自転車の撤去のほか、駐輪ルールに関する広報・啓発などの取り組みの充実を図ります。

(1) 自転車放置禁止区域の指定と放置自転車の撤去

放置自転車の多い地域については、必要に応じて自転車放置禁止区域の拡大や新たな指定を検討します。また、自転車の放置の多い時期や時間帯などを踏まえ、効果的な放置自転車の撤去を実施していきます。

また、古くなった自転車放置禁止区域の路面標示の調査や更新を適宜行うなど、自転車放置禁止区域の周知に取り組みます。



JR 小倉駅周辺地区自転車放置禁止区域図
(R8年3月31日時点)



JR スペースワールド駅周辺地区自転車放置禁止区域の追加
(R4年4月1日指定)

資料：北九州市道路維持課

< 放置自転車の撤去（夜間） >



資料：北九州市道路維持課

(2) 駐輪ルールに関する広報・啓発

駐輪指導員による啓発や駐輪施設への誘導のほか、街頭啓発や市内の高等学校へのパンフレットの配布などの広報・啓発活動を継続的に実施します。

＜放置自転車の防止に関するパンフレット＞



資料：北九州市道路維持課

施策4. シェアサイクル事業の推進

公共交通の機能補完やまちの回遊性向上に寄与し、通勤・通学、買い物、観光、ビジネスと多様な用途への活用が可能な交通サービスであるシェアサイクル事業を推進します。

シェアサイクル事業の推進にあたっては、さらなる利用の促進を図るため、効果的なステーションの設置や公共交通と連携したサービスの導入などを検討します。

＜ミクチャリステーション＞



＜LUUP ポート＞



(1) 効果的なシェアサイクルステーションの配置検討

シェアサイクルにおいては、利用できるステーションの数や位置が利便性に大きく関係します。そこで、利用者ニーズや公共交通との連携などを踏まえた効果的なステーションの配置を検討します。

		令和3年度	令和7年度
ステーション数	ミクチャリ	26 箇所	52 箇所
	LUUP	—	96 箇所
	合計	26 箇所	148 箇所
自転車台数	ミクチャリ	150 台	150 台
	LUUP	—	125 台
	合計	150 台	275 台
一日平均利用台数		75 回/台	330 回/台

表 ステーション数と利用台数の推移

(2) 公共交通と連携したサービスの導入検討

シェアサイクルと公共交通を組み合わせた経路検索や予約・キャッシュレス決済まで行う MaaS (Mobility as a Service) の導入を検討します。

施策 5. 情報通信技術活用の推進

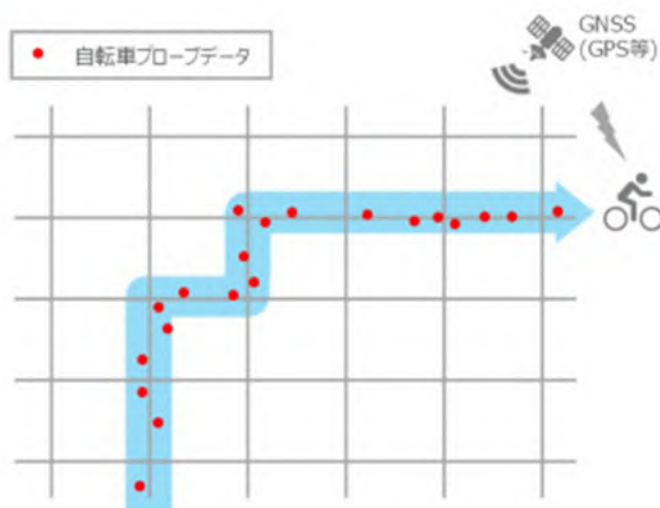
自転車施策を客観的な根拠に基づき、効率的かつ実効性のあるものとするため、情報通信技術の活用を推進します。

国が公開する交通事故情報や交通量等の「オープンデータ」に加え、シェアサイクルから得られる「GPS データ（自転車プローブデータ）」等の活用により、実際の利用実態に即した自転車通行空間の効率的な整備や、優先的に整備すべき路線の選定を行います。

また、走行実績や需要の分析結果に基づき、利用者の利便性を高めるシェアサイクルステーション（サイクルポート）の設置を進めるなど、データに基づいた高度な自転車利用環境の構築を図ります。



主な自転車プローブデータの概要



自転車プローブデータのイメージ

施策 6. サイクル&ライドの促進

(1) ニーズや利用特性に応じた駐輪施設整備の推進【再掲】

自転車と公共交通との連携を強化し、相互の利便性の向上を図るため、JR 駅やモノレール駅、バス停における駐輪施設の整備を推進していきます。

(2) サイクルトレイン・サイクルバスの導入検討

自動車依存からの脱却をしていくためには、公共交通や自転車の利用促進が必要であることから、公共交通や自転車の利便性を向上していく必要があります。そこで、中長距離を移動できる公共交通と短距離を機動的に移動できる自転車の連携を図り、鉄道やバスに自転車をそのまま乗せられる「サイクルトレイン」、「サイクルバス」の導入を検討します。

＜サイクルバスの事例＞



サイクルバス（西日本鉄道株式会社）



サイクルバス車内（西日本鉄道株式会社）

資料：西鉄グループ HP

＜サイクルトレインの事例＞



上毛鉄道サイクルトレイン（上毛電気鉄道株式会社）

資料：上毛電気鉄道株式会社 HP

＜サイクルシップの事例＞



若戸渡船（若松～戸畑間）

資料：スマートサイクルライフ北九州

施策7. 自転車利用の促進に関する情報発信の充実

「3. 6 自転車に関する情報発信（P26）」のとおり、本市では自転車に関する総合情報ウェブサイト「スマートサイクルライフ北九州」を開設しています。

本計画の取り組みにあわせ、自転車通行空間の整備状況や駐輪施設の位置をはじめとして、シェアサイクル、サイクル&ライド、自転車を活用した健康づくり、サイクルツーリズム、自転車利用におけるルールやマナーなど、自転車に関する情報を一元的に提供できるようコンテンツの充実を図ります。

＜自転車に関する総合情報ウェブサイト スマートサイクルライフ北九州＞



＜サイクルコースの紹介＞

コース概要

スペースワールド駅を出发、河内貯水池の美しい重力式コンクリートダムをぐるっと巡り、舞淵貯水池へむかう河内・道原サイクリングロード

道原・河内サイクリングロードは「舞淵貯水池」と「河内貯水池」の両方に整備されたサイクリングロード。ぐるっとダムのまわりを走る事ができるので、家族やカップルでサイクリングをするのに最適です。スマキタで「スペースワールド駅」を経由として、道原・河内の両方のサイクリングロードをめぐると全長約18.2kmをサイクリングコースとして紹介します。

※道原・河内サイクリングロードは道が広く走りやすいに恵まれています。十分注意して走行してください。



＜自転車のルール・マナーの情報発信＞



資料：スマートサイクルライフ北九州 HP